

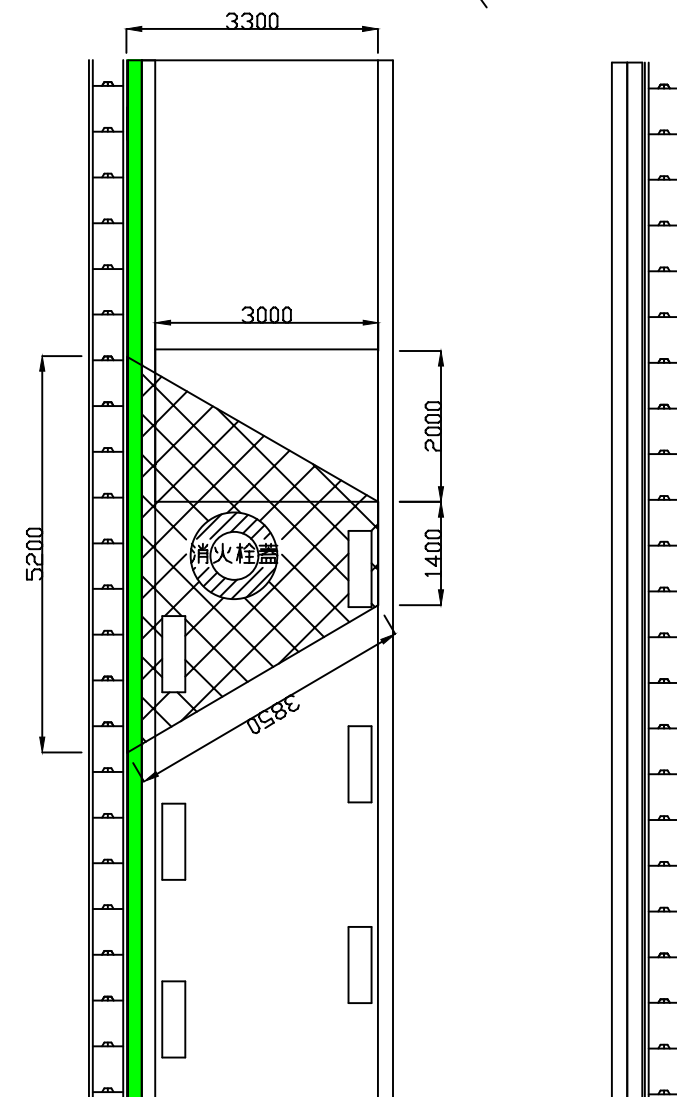
# 位置図 (Non Scale)



県01,02,03(消火栓) 県04,05 市01 (消火栓) 市02(夜間) 計7箇所

路面本復旧工事（下期）			
令和7年度			
路線名	一般県道 南安房公園線 外3線		
工事場所	館山市大賀95番地先 外6箇所		
図面種類	位置図		
図面番号	全 4 葉のうち第 1 号		
縮 尺	S=free	内容表示	用紙：A3
三芳水道企業団			
班 長		設計者氏名	

県道01  
県道南安房公園線  
館山市大賀95番地先  
消火栓No.512-1



$$(1.4+5.2) \times 3.3 \div 2 - 0.28 = 10.61$$

$$A = 10.61 \text{m}^2$$

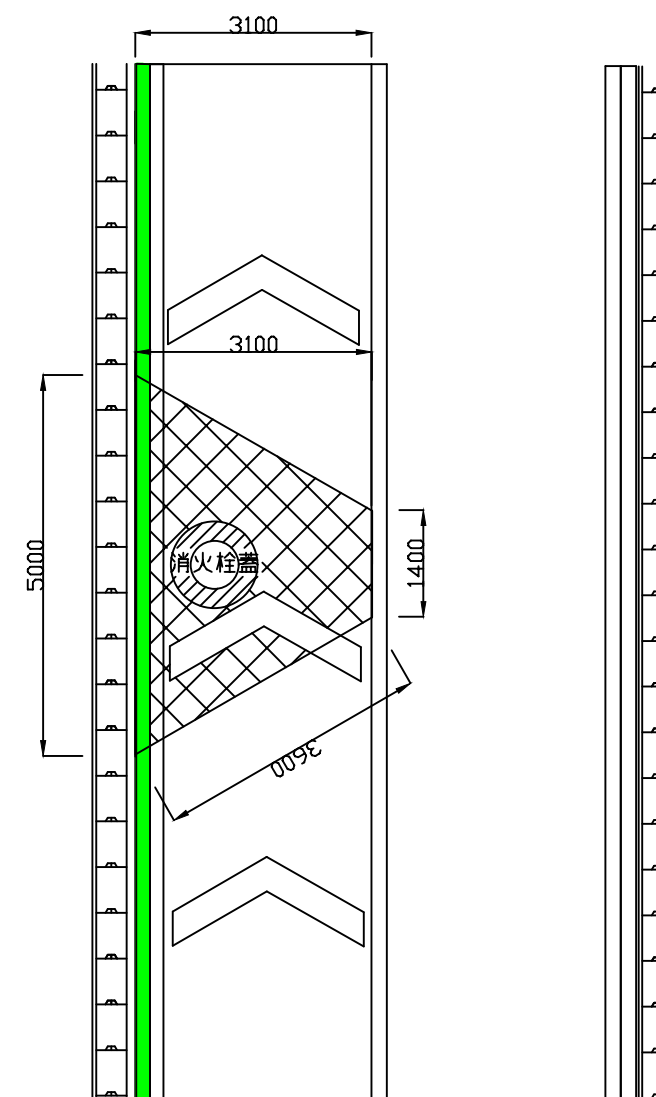
速度規制線1 (白 溶融式実線) 300×1000 2箇所

速度規制線2 (白 樹脂モルタル実線) 2000×3000=6m<sup>2</sup>

区画線1 (白線15cm 溶融式実線) 5.6m

区画線2 (緑 樹脂モルタル実線) 150×5600=0.84m<sup>2</sup>

県道02  
県道南安房公園線  
館山市大賀94番地先  
消火栓No.512-2



$$(1.4+5.0) \times 3.1 \div 2 - 0.28 = 9.64$$

$$A = 9.64 \text{m}^2$$

速度規制線 (矢尻 溶融式実線) 300×2900 1箇所

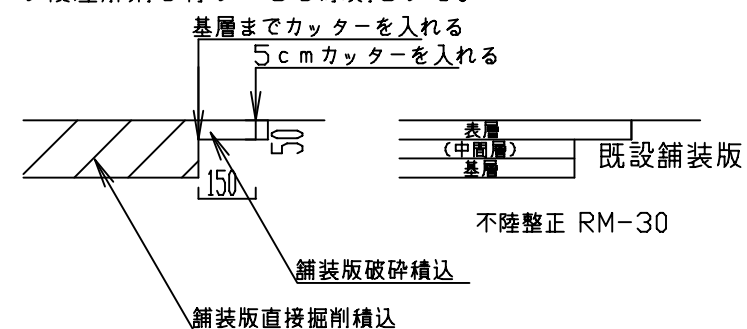
区画線1 (白線15cm 溶融式実線) 5.4m

区画線2 (緑 樹脂モルタル実線) 150×5400=0.81m<sup>2</sup>

#### 参考

#### 段差解消施工詳細図 S=FREE

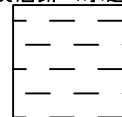
新旧舗装の継手部分は、縦断横断方向とも下記断面図のとおり段差解消を行うことを原則とする。



注 片側全面復旧の縦断方向についてはこの限りではない

#### [凡例]

既設復旧跡 (水道以外) 仮設復旧箇所 (水道)



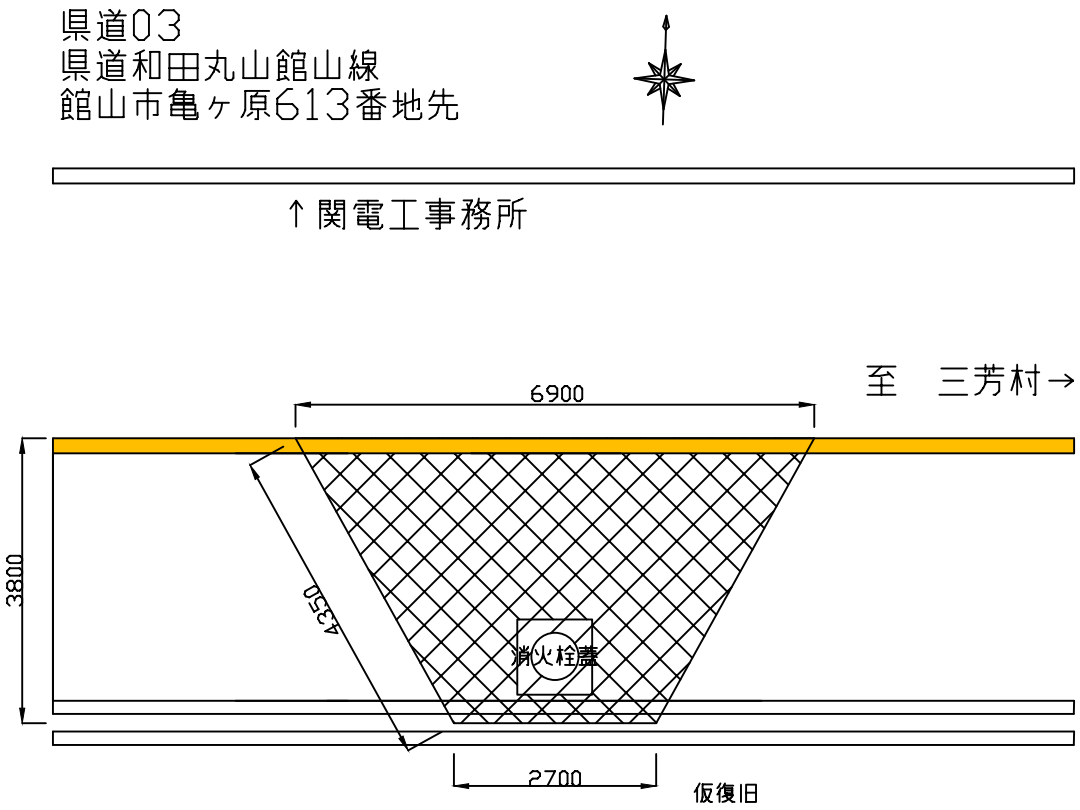
本復旧箇所



※ 規制線、区画線は切断箇所より 片側20cm余剰を見ることとする。

路面本復旧工事 (下期)			
令和7年度			
路線名	一般県道 南安房公園線 外3線		
工事場所	館山市大賀95番地先 外6箇所		
図面種類	本復旧求積図		
図面番号	全 4 葉のうち第 2 号		
縮 尺	S=free	内容表示	用紙: A3
三芳水道企業団			
班 長		設計者氏名	

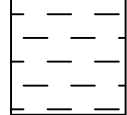
県道03  
県道和田丸山館山線  
館山市亀ヶ原613番地先



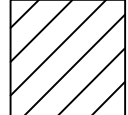
$(2.7+6.9) \times 3.8 \div 2 - 0.28 = 17.96$   
 $A = 17.96\text{m}^2$   
区画線（白線15cm 溶融式実線） 3.1m  
区画線（黄線20cm 溶融式実線） 7.3m

[凡例]

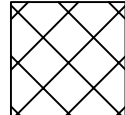
既設復旧跡（水道以外）



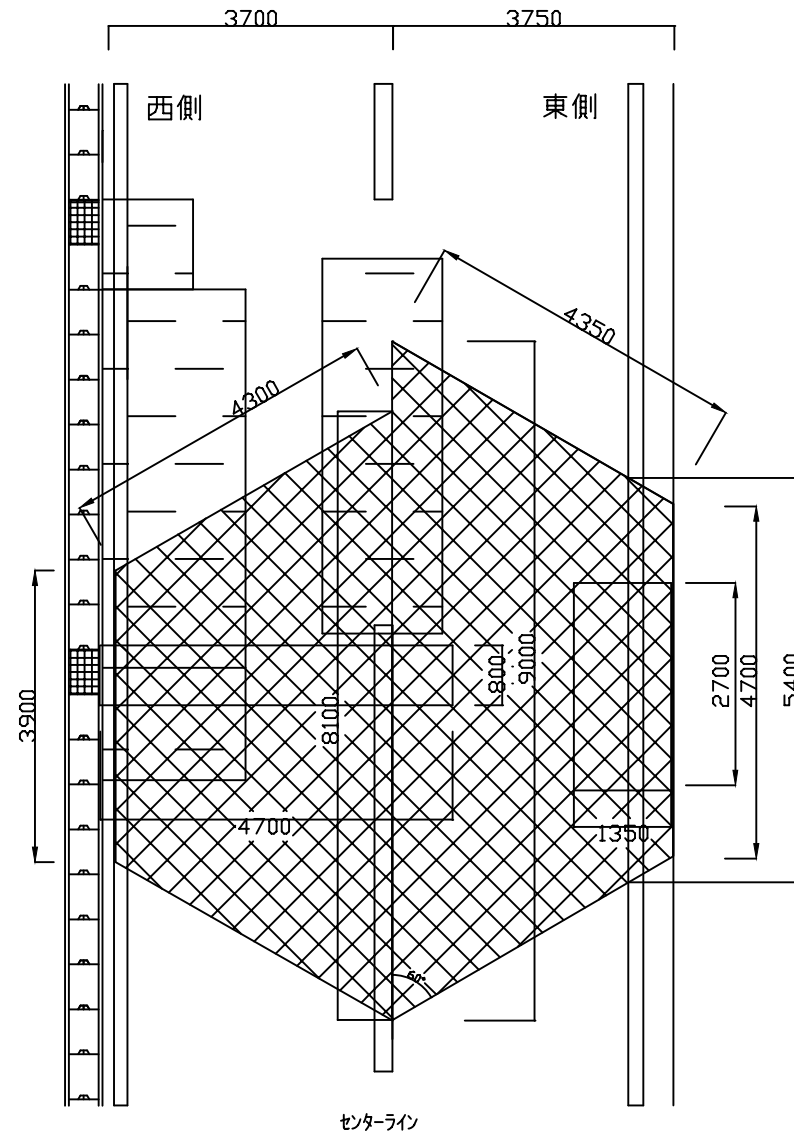
仮設復旧箇所（水道）



本復旧箇所



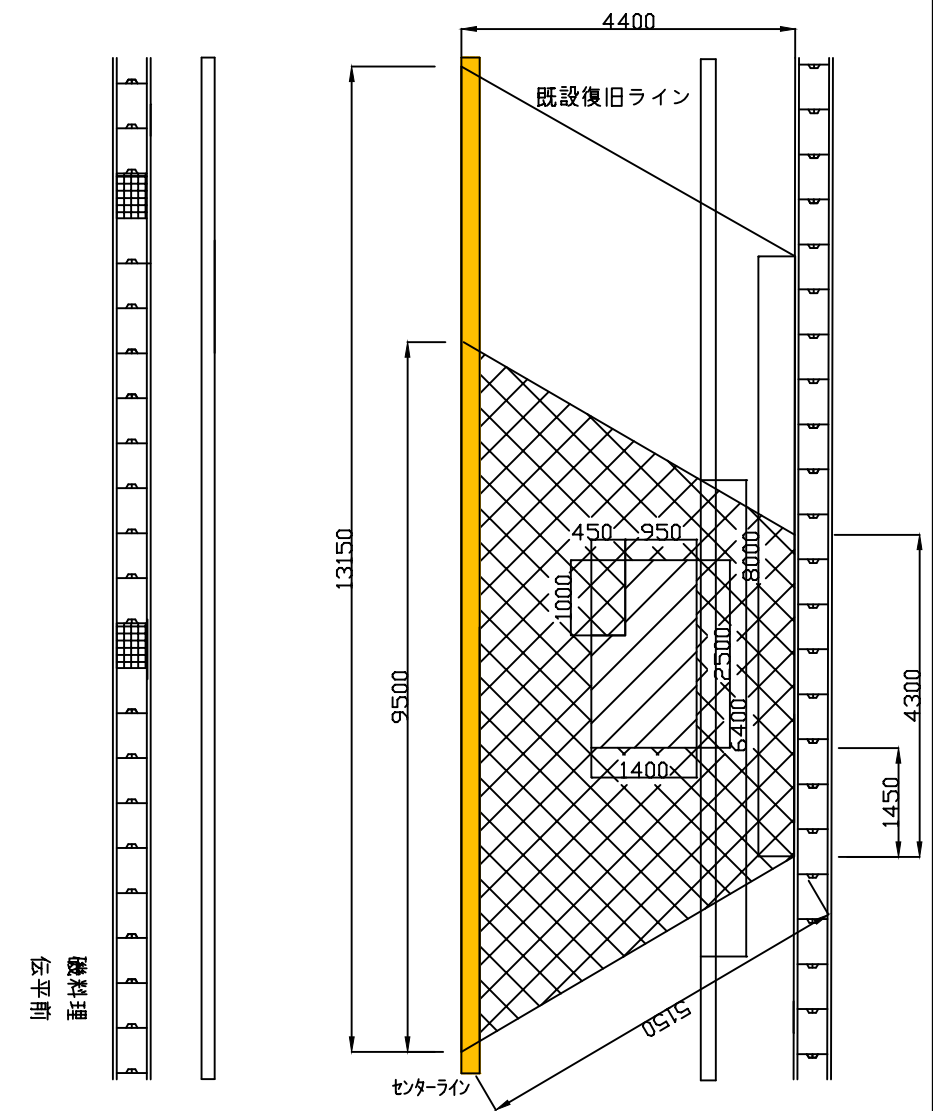
県道04  
県道犬掛館山線  
南房総市富浦町大津30番地先



東側 $(4.7+9.00) \times 3.75 \div 2 = 25.68$   
西側 $(3.9+8.10) \times 3.70 \div 2 = 22.20$   
 $A = 47.88\text{m}^2$   
区画線（白線15cm 溶融式実線） 10.1m  
区画線（白線20cm 溶融式実線） 5m

※水道以外で実施したと思われる舗装復旧箇所が多数存在するが  
影響範囲は水道で実施した仮設復旧箇所周辺のみを施工対象とする。

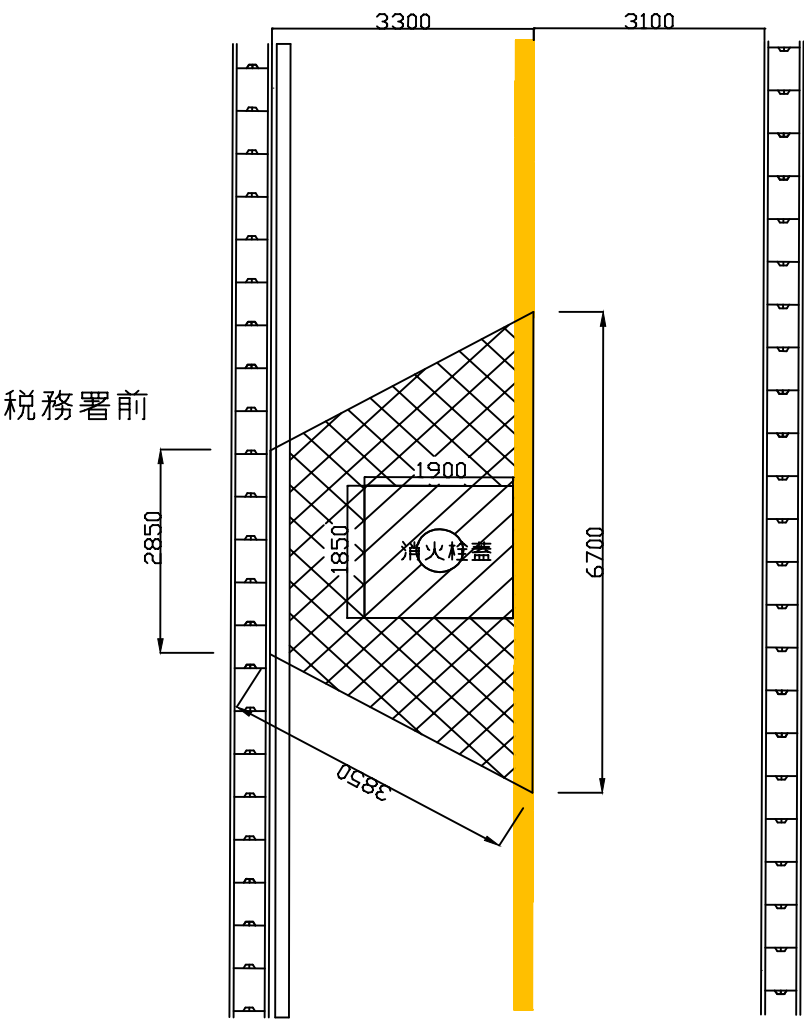
県道05  
県道南安房公園線  
館山市波左間944番地先



$(4.3+9.5) \times 4.4 \div 2 = 30.36$   
 $A = 30.36\text{m}^2$   
区画線（白線15cm 溶融式実線） 6.8m  
区画線（黄線20cm 溶融式実線） 9.9m

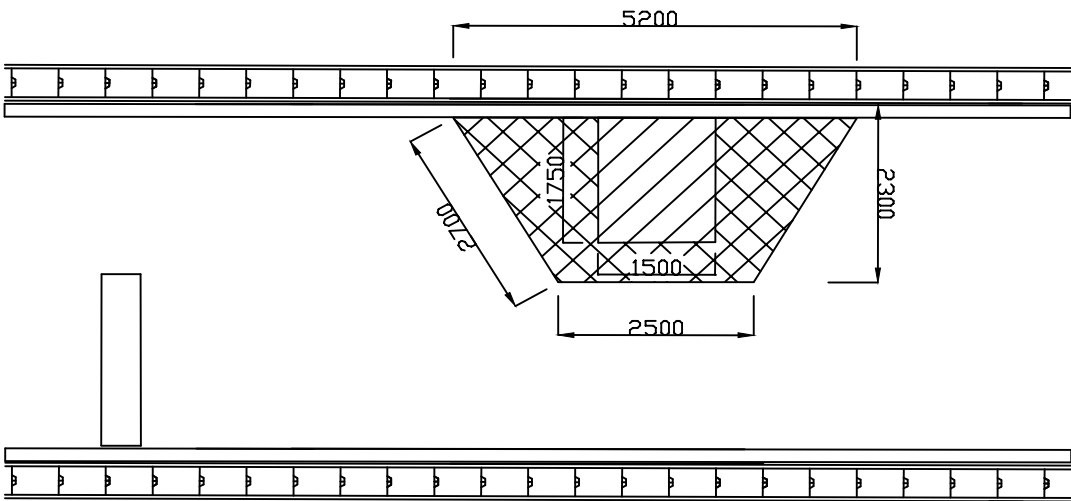
路面本復旧工事（下期）			
令和7年度			
路線名	一般県道 南安房公園線 外3線		
工事場所	館山市大賀95番地先 外6箇所		
図面種類	本復旧求積図		
図面番号	全 4 葉のうち第 3 号		
縮 尺	S=free	内容表示	用紙：A3
三芳水道企業団			
班 長		設計者氏名	

市道01（1272号線）  
館山市北条1164番地先

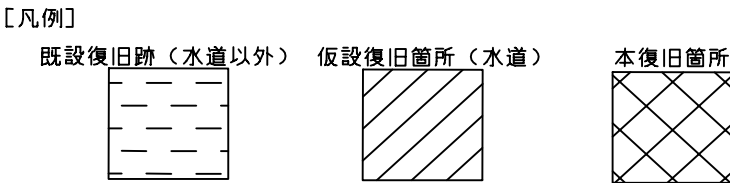


$(2.85 + 6.70) \times 3.3 \div 2 - 0.28 = 15.47$   
 $A = 15.47\text{m}^2$   
区画線（白線15cm 溶融式実線） 3.2m  
区画線（黄線20cm 溶融式実線） 7.1m

市道02（1272号線）  
館山市北条1229番1地先  
（夜間施工）



$(2.5 + 5.2) \times 2.3 \div 2 = 8.85$   
 $A = 8.85\text{m}^2$   
区画線（白線15cm 溶融式実線） 5.6m  
※道路幅員が狭く、交通量が多く見通しも悪いため 夜間施工とする。



路面本復旧工事（下期）			
令和7年度			
路線名	一般県道 南安房公園線 外3線		
工事場所	館山市大賀95番地先 外6箇所		
図面種類	本復旧求積図		
図面番号	全 4 葉のうち第 4 号		
縮 尺	S=free	内容表示	用紙：A3
三芳水道企業団			
班 長		設計者氏名	